



Website



Twitter



Facebook



Google+



YouTube



LINE

託して安心の即戦力！

和田直也。**Vol.56**

MARCH 2019 - 春号 2

きちんと市政＆議会報告 (056号)



◆「中心部」と「郊外部」連携

議会でも審議が進められている岐阜駅周辺再開発は、今後5年間で10棟のマンションの計画が進行中です。その事業者の大半が名古屋や東京資本、名古屋大都市圏にある岐阜駅周辺の居住区としてのマーケットが評価されているようです。全計画が実現すると中心市街地人口は約1千5百〜3千人増加が見込まれています。一方、国が推進するコンパクト＋ネットワーク型の都市構造にも関連し、今後は県庁や岐阜大学をはじめ既に郊外に拠点が形成される岐阜市の現状からして、パーク＆ライド（公共交通の乗継拠点）整備を加速させていく必要があります。持続可能な都市構造を目指し政策立案を続けます。



岐阜駅周辺再開発が進行中

12年前に策定された「都心居住」の政策効果が少しずつ発揮されています。今後10棟の計画が進められます。



◆「歩きたくなる」都市づくり

会の総合交通対策特別委員会は平成28年度に国の地方創生加速化交付金を原資に神田町（長良橋通）で開始したトランジットモール交通社会実験について集中審議。新年度からは金町（金華橋通）での交通社会実験の着手に向け調整が進められています。岐阜市の中心市街地は南北に長いため、岐阜駅・柳ヶ瀬そして新庁舎周辺を結ぶ公共交通＋徒歩による中心軸の形成が欠かせられません。その中心軸こそトランジットモール（歩車共存道路）ではないかと提案している立場からして、この政策は引き続き応援したいと思います。本郷町ケヤキ並木のように「歩きたくなる道」づくりを重点に今後も政策調整します。



歩車共存道路 Transit mall

歩行者天国の中に公共交通のみ通行可能とする道路。地方創生加速化交付金活用で神田町で社会実験を実施。



◆楽しい放課後「地域が応援」

期の度に取り上げる放課後児童クラブの問題は、安倍内閣が進める一億総活躍社会の旗印と直結しています。子育ては家庭が基本を前提としながら、これを地域が応援する体制づくりのニーズを高めていきます。市教委は平成31年春までに100%対応できる環境整備を議会答弁しています。次は「我が子はどうかでしているか」との質的向上策にシフトするものと理解し、先行事例の研究と共に、今後は学習塾や習い事教室等も巻き込みながら放課後をコーディネートしている教育機関と市教委の協議会を設立したいと考えています。「ただいま」「おかえり」までの間の放課後を楽しみひと時に！力を尽くします。



民間学童との連携を提案！

「ただいま」「おかえり」の会話が成り立つ平均時間は夜7時、それまでの放課後を楽しみ！力を尽くします。

きちんと市政＆議会報告

**YouTube**

岐阜市政＊市議会が一番よくわかる！
岐阜市の予算決算を家計簿に例えて解説します。
YouTube アプリから「和田直也」チャンネル登録！

新年度予算速報＊市政＆議会報告会！

平成31年度の岐阜市予算をダイジェストで市政報告します

3月24日
(日曜＊SUN)

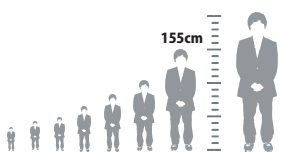
10:30-11:30
善福寺本堂
(岐阜市徹明通 6-1-1)

みんなの知恵を集める cafe！

子育て教育「民間学童保育」をテーマにアイデア集約します

3月30日
(土曜＊SAT)

10:30-11:30
メディアコスモス
(かんがえるスタジオ)



1980 (昭和55) 年生まれ。岐阜幼稚園、木之本小（現 徹明さくら小）、本荘中、米国 Saratoga High School 交換派遣、県立岐阜商業高校国際コミュニケーション科、立命館大学法学部を経て同大学大学院法学研究科前期博士課程修了（法学修士）。2006 年、岐阜市に戻り（株）HA テレコム並びに日本再生研究会（岐阜元岐阜県知事）事務所で勤務。2007（平成19）年の統一地方選で初当選。このまちの未来の声に応えるため岐阜市政に携けて活動中。

党派：自由民主党 会派：クラブ青空 所属：文教委員会

和田直也を大きくする会事務局
岐阜市議会議員 和田直也 事務所

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1
TEL+FAX: 058-251-2638
E-mail: office@wada-naoya.jp